

---

## 5 時間 第一章

文月スグリ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

5時間 第一章

### 【Nコード】

N9171F

### 【作者名】

文月スグリ

### 【あらすじ】

小学生の頃、僕に『夢』がなかった。現実と夢との境に揺れる『僕』の成長物語になると思います。

## 第一章

小学校六年生のとき、『将来の夢』というテーマで作文の宿題が出あった。友達は、野球をしていたヤツはプロ野球選手に、頭のいいヤツは学校の先生に、少し可愛い女の子は芸能関係の仕事に就きたいと書いていた。しかし、僕にはそういった夢が無かった。ただ、このまま進学して大学に行き、卒業後はどこかの中小企業に就職する。そしてある程度の役職になったころには定年を迎える。そんな未来しか思い描くことができなかった。もちろん、たくさんお金がもらえて有名になって、そんな仕事に憧れないわけがなかったが、最初から無理だと決め付けていた。

作文に自分の将来への展望をそのまま書くことも考えたが、その作文はどうやら卒業文集に載せるためのもので、当然、両親も読むことになる。それは流石に拙いと思った僕が書いたのは、囲碁の棋士になるというものであった。もちろんこれには理由があった。両親が当時共働きで祖父といる時間が多く、祖父がよく囲碁をしていたので自然と覚えていたことと、その当時のプロで、19歳にしてタイトルを3つ取った棋士がいて、それがまた顔のつくりが良かったために話題になっていたので、少しの憧れを込めてプロ棋士になりたいと書いた。

卒業文集を見た両親は複雑そうな顔をしていたが、祖父は満面の笑みを浮かべていた。今までは祖父もお遊び程度だったが、その日から囲碁の授業が始まった。

小学校の勉強がそうであるように、遊びが勉強に変わると、途端につまらなくなるものだ。囲碁もその例外では無かった。今まで、適当に石を並べていただけなのに、急にそれはダメだと否定されると、自信がなくなった。何より、友達で囲碁が出来る人がいないのが、僕を囲碁から遠ざけた。

春休みになるともっと退屈な授業が始まると覚悟していたが、そ

んな僕の思いを察してか、祖父は一人で暮会所に出かけるようになった。

そんな日が続いたある日、祖父は久しぶりに僕を暮会所に誘った。特に友達と遊ぶ約束もしていなかったので、暇つぶしにはなると着いていって僕は驚いた。暮会所の中に、僕と同じくらいの女の子がいたのだ。

## 第一章（後書き）

続くといいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9171f/>

---

5時間 第一章

2010年12月31日21時38分発行